

2026年3月修了 応用化学コース修士論文発表会

【発表時間】修士修了:発表15分－質疑9分－交代1分, 進学予定者:発表15分－質疑14分－交代1分

開催日:2026年2月16日(月)

A-1会場:大岡山南2号館 S2-202(S223講義室)

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:30 - 9:54	上坊 志緒	大塚 英幸	側鎖ルイス付加体の形成と解離に基づく両親媒性高分子の水和制御と水系接着への展開
9:55 - 10:19	細野 快斗	大塚 英幸	耐熱性と蛍光性を兼ね備えた非対称型ラジカル系メカノフォアを有する高分子の合成と力学応答性評価
10:20 - 10:44	山内 雅史	大塚 英幸	ジアリールテトラシアノエタン骨格の熱および力学応答性の評価とメカノクロミック高分子への展開
10:45 - 11:09	福原 誠大	大塚 英幸	架橋点にメカノクロミック分子を有する変性架橋ポリオレフィンの開発
11:10 - 11:34	WU YUE	大塚 英幸	架橋点の剛直性制御により物性を変調可能な動的エポキシ樹脂の開発
11:35 - 12:04	坂本 将也	田中 健	含窒素ヘテロ環を配向基とするピナコールボランを用いたC(sp ³)-H結合ホウ素化反応
12:05 - 13:14	(昼休み)		
13:15 - 13:44	清水 亮太	田中 健	不斉[2+2+2]付加環化反応を鍵とする多重カルボヘリセンの立体選択的合成
13:45 - 14:09	漆間 あおい	田中 健	スピロ型インデニルロジウム触媒によるアルキンの可視光駆動型環化三量化反応
14:10 - 14:34	飯室 遥香	田中 健	長波長光を利用したラジカル型典型元素導入反応の開発
14:35 - 14:59	鈴木 萌音	田中 健	可視光を用いたケイ素ラジカルの発生法と新規ケイ素化反応の開発
15:00 - 15:14	(休憩)		
15:15 - 15:39	片平 盛之介	石曽根 隆	オキシインドール環を有する新規モノマーの設計とアニオン重合
15:40 - 16:04	松尾 豪	石曽根 隆	パラ位に電子求引性基を有する4-ビニル-1,1-ジフェニルエチレン類のアニオン自己交互重合
16:05 - 16:29	吉澤 勇太	斎藤 礼子	マイクロ相分離構造を有するトリブロック共重合体におけるポリシラゼン導入による水蒸気バリア性と力学特性の制御
16:30 - 16:59	山崎 優太	佐藤 浩太郎	制御/リビングクリック重合と種々の重合の組み合わせによるブロック共重合体の合成

開催日:2026年2月16日(月)

A-2会場:大岡山南2号館 S2-201(S224講義室)

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:45 - 10:09	瀧本 浩平	石曽根 隆	炭化水素溶媒中におけるイミノ基を有するスチレン誘導体のアニオン重合
10:10 - 10:34	福嶋 玲希	佐藤 浩太郎 田中 浩士	ハロゲンによる反応性制御を活用した1,2-ジアセタールおよび活性エステルの開発
10:35 - 10:59	冠木 南々帆	佐藤 浩太郎	無水イタコン酸のラジカル重合および高分子反応による新規機能性バイオベースポリマーの合成
11:00 - 11:24	西永 宗司	伊藤 繁和	電子豊富アルケン部位を含む1,6-エンイン基質を用いたLAuCl触媒反応の開発
11:25 - 11:49	大安 夏海	石曽根 隆	メチレンシクロヘプタトリエン骨格を有するモノマーの重合性
11:50 - 12:14	呉 佳セン	石曽根 隆	6-(フェニル)ベンゾフルベン誘導体のアニオン重合およびポリマーの分解挙動
12:15 - 13:14	(昼休み)		
13:15 - 13:39	飯田 優斗	小西 玄一	D- π -A型発光性ネマチック液晶の創製と応用
13:40 - 14:04	関谷 春樹	佐藤 浩太郎	カテコール含有特殊構造ポリマーの精密合成と高分子一本鎖における金属相互作用評価
14:05 - 14:34	LIANG ZIXIAO	佐藤 浩太郎	チオエステル含有分解性ポリエステル創出及び高分子反応への展開
14:35 - 15:04	田島 悠作	佐藤 浩太郎	グリセロール及びその誘導体の重付加による機能性バイオベースポリアセタールの合成
15:05 - 15:19	(休憩)		
15:20 - 15:44	久保田 直子	小西 玄一	AIE Tagの開発
15:45 - 16:14	小西 謙成	小西 玄一	励起状態ダイナミクスに基づく機能性有機蛍光色素の開発
16:15 - 16:39	橋本 英明	小西 玄一	ニトロ基含有蛍光ソルバトクロミック色素の開発

開催日:2026年2月16日(月)

B-1会場:大岡山南2号館 S2-204(S221講義室)

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:00 - 9:24	大場 将生	芹澤 武 澤田 敏樹	凍結融解を利用したセルロースナノファイバーの化学架橋による透明性のあるスポンジの形成
9:25 - 9:49	久澤 果恋	芹澤 武 澤田 敏樹	両親媒性トリブロック高分子とセロオリゴ糖の共集合化による複合ゲルの構築と特性評価
9:50 - 10:14	RYU SUMIN	芹澤 武 澤田 敏樹	セロオリゴ糖による疎水性ナノチューブの水中分散と複合フィルム化
10:15 - 10:39	LEE JUN SEOK	芹澤 武 澤田 敏樹	ヘキシル化セロオリゴ糖からなるセルラーゼ応答型薬物キャリアの構築と機能評価
10:40 - 11:04	山本 和加子	芹澤 武 澤田 敏樹	動物細胞表面へのセロオリゴ糖集合体の集積
11:05 - 11:09	(休憩)		
11:10 - 11:34	小沢 悠太	澤田 敏樹 芹澤 武	表層に望みの配列のトリペプチドをもつ遺伝子改変ファージの構築と特性評価
11:35 - 11:59	黒田 拓海	澤田 敏樹 芹澤 武	機械的な摂動を利用した高アスペクト比かつ大面積な窒化ホウ素ナノシートの調製
12:00 - 12:24	重成 翼	澤田 敏樹 芹澤 武	繊維状ウイルスと金ナノ粒子からなる複合膜の構築とその気体分離特性の評価
12:25 - 12:49	古市 真結子	澤田 敏樹 芹澤 武	モノマー配列ならびに分子量が定まった精密オリゴマーに結合するペプチドの特性評価
12:50 - 13:39	(昼休み)		
13:40 - 14:04	小関 晴人	戸木田 雅利	伸張変形に伴う液晶ブロック共重合体ラメラ状マイクロ構造のキンク形成と各相の弾性率
14:05 - 14:29	加藤 新也	戸木田 雅利	ポリマーグラフトナノ粒子フィルムの弾性回復と自己修復
14:30 - 14:54	坂本 翔	戸木田 雅利	ポリマーグラフト粒子ブレンドにおけるグラフトポリマーの相分離挙動と力学特性の相関
14:55 - 15:19	根本 開	戸木田 雅利	非晶セグメントを架橋した主鎖型スメクチック液晶ブロック共重合体の相転移に伴う構造変形と収縮挙動
15:20 - 15:44	橋本 大希	戸木田 雅利	結合交換型架橋を導入した全芳香族液晶ポリエステル の 力学物性
15:45 - 15:49	(休憩)		
15:50 - 16:14	丹野 陽大	石毛 亮平	スメクチック液晶様の層構造を有する剛直高分子の熱膨張と光架橋の検討
16:15 - 16:39	小島 知大	石毛 亮平	非晶・液晶・半結晶性を示す一次構造が同一のポリイミドを活用した秩序構造と熱拡散率の相関解明
16:40 - 17:04	山本 皐大	石毛 亮平	光学活性脱離基を導入した液晶性前駆体から生成するアキラルなポリイミドのキラルらせん形態
17:05 - 17:14	(休憩)		
17:15 - 17:39	菅 翔大	中嶋 健 梁 暁斌	原子間力顕微鏡を用いたポリ(α-L-グルタミン酸)一本鎖の二次構造転移の検討
17:40 - 18:04	小浜 天紀	中嶋 健 梁 暁斌	原子間力顕微鏡を用いたナノフィッシング法によるポリエチレングリコール一本鎖の力学物性に関する研究
18:05 - 18:19	(休憩)		
18:10 - 18:39	長谷川 花音	中嶋 健 梁 暁斌	原子間力顕微鏡を用いた粘弾性接触理論に関する研究
18:40 - 19:04	森 春香	中嶋 健 梁 暁斌	原子間力顕微鏡を用いたナノフィッシング法によるポリ(N-イソプロピルアクリルアミド)一本鎖の物性に関する研究
19:05 - 19:29	八木 皓太	中嶋 健 梁 暁斌	ナノ触診原子間力顕微鏡を用いた結晶性高分子の伸長下変形挙動に関する研究

開催日:2026年2月16日(月)

B-2会場:大岡山南2号館 S-203(S222)講義室

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:00 - 9:24	木下 裕貴	吉松 公平 大友 明	三酸化ニバナジウム薄膜の新規合成法開発と電子相転移に関する研究
9:25 - 9:49	関口 琢朗	大友 明	Al酸水酸化物薄膜の合成と水素脱離挙動の光学的評価
9:50 - 10:14	平出 悠士	大友 明 吉松 公平	新規窒化ニオブ系化合物の開拓と超伝導特性の制御
10:15 - 10:39	上野 泰右	鷹尾 康一郎	オールウランレドックスフロー電池における正負両極の活物質となりうるウラニル錯体の開発
10:40 - 11:04	小林 真人	鷹尾 康一郎	多架橋ピロリドンリンカーを用いた硝酸ウラニル配位高分子の多次元化
11:05 - 11:09	(休憩)		
11:10 - 11:34	小柳 裕規	村橋 哲郎	PドナーまたはNドナーキレート配位子を有するパラジウムI価錯体の構造と反応性
11:35 - 11:59	出牛 慎太郎	村橋 哲郎	原子空孔をもつパラジウム12核クラスターの構造解析
12:00 - 12:24	末永 東子	村橋 哲郎	[2.2]パラシクロファンを架橋配位子として有する白金クラスター錯体の合成
12:25 - 12:49	坂東 慶亮	村橋 哲郎	ジカチオン性パラジウム単核、二核及び三核錯体とアルキン類との反応
12:50 - 13:14	藤川 紘彰	村橋 哲郎	シクロヘプタトリエニル配位子を有するパラジウムクラスターの合成及びその光誘起水素発生触媒活性の解明
13:15 - 14:14	(昼休み)		
14:15 - 14:39	高橋 陽弥	塚原 剛彦	表面機能化磁性ナノ吸着材の創製と核医学治療用Ac-225分離精製への適用性検討
14:40 - 15:04	(休憩)		
15:05 - 15:29	前田 泰雅	塚原 剛彦	ウラニルイオン配位性ポリマー固定化PDMSスポンジの創製とウラン分離回収への応用
15:30 - 15:54	江原 茉由	塚原 剛彦	超臨界二酸化炭素を利用した機能性ナノ粒子内包非フッ素ゴムの創製と評価
15:55 - 15:59	(休憩)		
16:00 - 16:24	周 詩雨	高尾 俊郎	炭素三員環を有する三核ルテニウム錯体の水素の吸脱着機構の検討
16:25 - 16:49	荒谷 響子	大河内 美奈	脂質ナノ粒子を用いたCD9 結合ペプチド送達系の開発と機能評価
16:50 - 17:14	飯田 沙織	大河内 美奈	ペプチド修飾ガラスアレイを用いたMHC class II拘束性CD4 ⁺ T細胞エピトープ探索法の開発
17:15 - 17:39	鳥海 航生	大河内 美奈	ペプチド修飾グラフェンFETセンサによるエクソソーム検出
17:40 - 18:09	渡部 梨花	安藤 慎治	発光性イミド化合物を用いた非晶性高分子の低温域における酸素透過性と局所運動性の相関解析

開催日:2026年2月16日(月)

C-1会場:南4号館 S4-201(S421講義室)

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:00 - 9:24	小林 凜太郎	松本 秀行	アミン系CO ₂ 吸収固体生成プロセスの動的解析
9:25 - 9:54	津久井 瑠	松本 秀行	ペプチド合成プロセスにおける固相担体の膨潤挙動の動的解析
9:55 - 10:19	小野沢 陸	松本 秀行	深共晶溶媒を用いたアンモニア選択的分離プロセスの動的解析
10:20 - 10:44	(休憩)		
10:45 - 11:09	桑野 秀人	松本 秀行	アイオノマと触媒粒子の調合プロセス設計のための超音波照射操作の影響解析
11:10 - 11:34	(休憩)		
11:35 - 11:59	内藤 碩一	原田 琢也	固定床反応型次世代MgO系CO ₂ 回収プロセスの開発及び適用評価
12:00 - 12:24	WANG YIDI	原田 琢也	Carbon-free H ₂ production by sorption enhanced water gas shift reaction using molten borate based CO ₂ absorbent
12:25 - 13:29	(昼休み)		
13:30 - 13:54	太田 直希	山中 一郎	CO ₂ とメタノールのSPE-タンデム電解による炭酸ジメチルの直接合成
13:55 - 14:19	武藤 翔斗	山中 一郎	高活性化Co-TPP/KB触媒による純過酸化水素水合成に関する研究
14:20 - 14:44	福本 亘	関口 秀俊	反応性ガスを導入した大気圧マイクロ波プラズマの安定化
14:45 - 15:09	西村 和樹	関口 秀俊	大気圧マイクロ波プラズマ粉粒噴流層を用いた微粒子の処理
15:10 - 15:34	芹澤 涼冴	関口 秀俊	誘電体バリア放電を用いた化学反応プロセスに対する極低温環境の影響
15:35 - 15:59	(休憩)		
16:00 - 16:24	佐々木 省吾	山中 一郎	Co-P4VPy/KBカソード触媒の高活性化によるCO ₂ 高速還元に関する研究
16:25 - 16:49	岡本 紗良	山中 一郎	CO ₂ 電解還元による炭化水素合成を目指した新規電極触媒の研究
16:50 - 17:14	名倉 諒	多湖 輝興	Ni@S-1 触媒の調製と水蒸気・二酸化炭素を用いたメタン改質による合成ガス製造への適用
17:15 - 17:39	中村 拳	多湖 輝興	アルミナ担持CuMgFe型ハイドロタルサイト触媒を用いたCO ₂ 直接 FT 合成

開催日:2026年2月16日(月)

C-2会場:南4号館 S4-202(S422講義室)

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:00 - 9:24	望田 碧葉	森 伸介	一酸化炭素を原料とする長尺垂直配向カーボンナノチューブの合成
9:25 - 9:49	一井 駿佑	谷口 泉	電界紡糸とその後の熱処理によるFe ₃ O ₄ @C複合体の合成
9:50 - 9:54	(休憩)		
9:55 - 10:19	香月 慧美	下山 裕介	超臨界CO ₂ を用いたフロープロセスによる機能性リボソームの設計
10:20 - 10:44	久下 稔	下山 裕介	微小流路を利用したジャイアントリボソームの連続形成プロセスに関する研究
10:45 - 11:09	(休憩)		
11:10 - 11:34	榎本 航平	下山 裕介	光熱 CO2 回収プロセスに向けた炭素複合シリカエアロゲルの応用に関する研究
11:35 - 13:29	(昼休み)		
13:30 - 13:54	工藤 梅花	下山 裕介	高圧二酸化炭素による融液を用いた共結晶形成とその予測
13:55 - 14:19	牧村 航汰	久保内 昌敏	炭素繊維強化フラン樹脂複合材料の成形性と強度発現機構
14:20 - 14:44	森下 知春	多湖 輝興	エタノールからのブタジエン直接合成に向けたZr-MFIゼオライト内包Cu触媒の開発
14:45 - 15:09	鹿内 慈	青木 才子	ZnDTPの摩擦摩耗特性に与えるアクリル系グラフトポリマーの影響
15:10 - 15:34	石毛 隼也	多湖 輝興	ZnZrOx 担持 MFI ゼオライトによるCO ₂ からメタノールを介した炭化水素一段合成
15:35 - 15:59	GANBAT BUYANDELGER	多湖 輝興 松本 秀行	サロゲートモデルに基づくCO ₂ 有効利用のための省エネ型メタノール製造プロセスシステムの合成

2026年3月修了 応用化学コース修士論文発表会

【発表時間】修士修了：発表15分－質疑9分－交代1分, 進学予定者：発表15分－質疑14分－交代1分

開催日：2026年2月17日（火）

A-1会場：すずかけ台G1棟 G1-103（G114講義室）

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:20 - 9:49	MA YUNHAN	吉沢 道人 澤田 知久	External Amino Acid Functionalization of meta/ortho-Aromatic Micelles and Their Properties
9:50 - 10:14	北浦 立樹	吉沢 道人 澤田 知久	カプセル化によるAIE性アントラセン分子の水中強発光と置換基効果
10:15 - 10:39	齋藤 由菜	澤田 知久 吉沢 道人	M ₂₄ L ₂₄ ペプチドカプセルの空孔ライブラリー構築
10:40 - 10:54	（休憩）		
10:55 - 11:19	久保田 玲音	吉沢 道人 澤田 知久	非対称ビスピリジン配位子による芳香環ボウル/カプセルの構築
11:20 - 11:44	村田 裕常	吉沢 道人 澤田 知久	パラ/メタ置換ピフェニル骨格を含む芳香環ミセルの発光と構造特性
11:45 - 12:09	亀山 優斗	吉沢 道人 澤田 知久	チオフェン環を有する芳香環ミセルの構築と増環効果
12:10 - 13:14	（昼休み）		
13:15 - 13:39	金田 愛	澤田 知久 吉沢 道人	M ₆₀ L ₆₀ ペプチド球殻構造の表面ヘテロ官能基化
13:40 - 14:04	小澤 悠馬	岡本 敏宏	シクロヘキシル環を基盤とした非対称側鎖置換 n 型有機半導体の合成・集合体構造・電荷輸送特性
14:05 - 14:34	梶原 啓志	岡本 敏宏	ジグザグ型 π 電子系分子群の多軌道混成キャリア伝導：カルコゲン元素効果・置換基効果
14:35 - 14:49	（休憩）		
14:50 - 15:14	CHOI JUHUI	中 蘭 和子	多重水素結合架橋による高分子微粒子フィルムの力学安定化
15:15 - 15:39	右田 茉莉	中 蘭 和子	4,4'-ジアミノジフェニルメタン骨格を有するアザシクロファン分子認識
15:40 - 16:09	高津 愛斗	中 蘭 和子	アンモニウム塩を骨格に有する水溶性テトラアザシクロファン分子認識特性
16:10 - 16:14	（休憩）		休憩
16:15 - 16:44	新村 洋介	吉沢 道人 澤田 知久	ピリジニウム基を有する環状キメラペプチドの創出と会合能
16:45 - 17:09	保母 竜太	澤田 知久 吉沢 道人	金属連結を利用したペプチドナノシートの構築と力学特性

開催日：2026年2月17日（火）

A-2会場：すずかけ台G1棟 G1-109（G115講義室）

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:30 - 9:54	齊藤 響	富田 育義	ヘテロール誘導体を用いたポリマー材料の熱安定性の向上に関する研究
9:55 - 10:19	荻野 大	富田 育義	片末端にアレニル基をもつポリジメチルシロキサンのリビング配位共重合による精密なブロック共重合体の構築と各種無機材料の分散剤への応用
10:20 - 10:44	難波 和真	富田 育義	アレン類のリビング配位ブロック共重合を基盤とする結晶化駆動自己組織化による高分子ナノ構造体の構築
10:45 - 10:59	（休憩）		
11:00 - 11:29	辻村 京佑	富田 育義	ポスト元素変換反応により得られるビスモール誘導体の光化学反応挙動
11:30 - 11:54	影山 凜	庄子 良晃 福島 孝典	有機結晶中の可逆変化プロセスを利用した有機熱スイッチ材料
11:55 - 12:19	横内 豪	庄子 良晃 福島 孝典	周期的にホウ素原子を組み込んだ拡張 π 共役化合物の合成と性質
12:20 - 13:19	（昼休み）		
13:20 - 13:44	山口 蒼乃	福島 孝典 庄子 良晃	ポスト表面機能化を可能にするピリジル置換トリブチセン分子三脚による自己組織化単分子膜の構築
13:45 - 14:09	古川 雄太郎	稲木 信介	有機ホウ素アート錯体の電解酸化に基づく電極表面修飾法の開発
14:10 - 14:39	今村 賢登	稲木 信介	電解発生成酸を用いた含フッ素共有結合性有機構造体の均一薄膜の作製と選択的電気化学センサーへの応用
14:40 - 14:44	（休憩）		
14:45 - 15:09	河上 竜成	庄子 良晃 福島 孝典	安定有機ラジカルユニットを導入したトリブチセン分子三脚の合成と自己組織化単分子膜の作製
15:10 - 15:34	齋藤 貴則	福島 孝典 庄子 良晃	ポスト金属イオン置換によるヘテロ金属イオンクラスターの精密合成と機能開拓
15:35 - 15:59	山原 奈々	福島 孝典 庄子 良晃	9,10-ジシラトリブチセン骨格構築反応を利用した剥離可能な共有結合性二次元有機構造体の構築
16:00 - 16:14	（休憩）		
16:15 - 16:39	相 圭亮	稲木 信介	ビイミダゾール構造を基盤とする高電位有機正極材料の開発
16:40 - 17:09	桐野 凌汰	稲木 信介	流動電位を用いた無給電バイポーラ電気化学セルにおける発電効率の向上およびラクトン合成への応用
17:10 - 17:34	松本 寛太	中 蘭 和子	サイズ相補性高分子ロタキサンを架橋点に有する架橋高分子の合成と物性評価

開催日:2026年2月17日(火)

B会場:すずかけ台G2棟 G2-202(G221講義室)

時間	発表者	指導教員	論文題目
11:00 - 11:24	内木 乃亜	今岡 享稔 山元 公寿	原子分解能透過型電子顕微鏡によるサブナノスケール合金の原子配列構造解明
11:25 - 11:49	高信 昌彦	山元 公寿 今岡 享稔	二酸化炭素還元反応におけるサブナノ粒子の電極触媒作用
11:50 - 12:14	藤枝 海琉	山元 公寿 今岡 享稔	ニッケルサブナノ粒子による一酸化窒素還元反応の触媒機能解明
12:15 - 13:14	(昼休み)		
13:15 - 13:39	秋澤 圭吾	矢戸 厚 久保 祥一	動的光重合および分子鎖交換反応による相分離構造の配向制御
13:40 - 14:04	丹羽 亮太	矢戸 厚 久保 祥一	蛍光発光体を用いた高分子フィルムの微小変形挙動解析
14:05 - 14:34	比嘉 健人	矢戸 厚 久保 祥一	光応答性プライマーを利用した異方性接着材料の創製
14:35 - 14:44	(休憩)		
14:45 - 15:09	福満 怜香	矢戸 厚 久保 祥一	高分子安定化色素ドーブ液晶の楕円偏光応答挙動
15:10 - 15:34	福本 悠介	矢戸 厚 久保 祥一	ハードコート／PET二層フィルムにおける湾曲表面ひずみとクラック挙動の解析
15:35 - 16:04	渡邊 知樹	矢戸 厚 久保 祥一	光熱効果を利用した空間選択的熱重合における重合挙動解析
16:05 - 16:34	小山 宗一郎	矢戸 厚 久保 祥一	円偏光入射により誘起される色素ドーブ液晶の分子回転と自励振動現象の偏光解析

開催日:2026年2月17日(火)

C会場:すずかけ台G2棟 G2-201(G223講義室)

時間	発表者	指導教員	論文題目
10:00 - 10:24	濱松 純一郎	山田 桂太	昆虫を指標として用いたフタル酸エステル汚染状況の監視
10:25 - 10:49	佐々木 郁弥	豊田 栄	清浄大気中水素の安定同位体比分析法開発
10:50 - 11:14	高矢 怜菜	豊田 栄	森林伐採が土壌中の窒素動態に与える影響の解明
11:15 - 11:39	劉 虹初	豊田 栄	海洋酸性化がアンモニア酸化古細菌によるN ₂ O生成に及ぼす影響の解明
11:40 - 12:59	(昼休み)		
13:00 - 13:24	児玉 成海	山口 猛央 黒木 秀記	Ni系微粒子連結・多孔体構造を用いたAEM型水電解用アノード電極の開発
13:25 - 13:49	馬場 実成斗	山口 猛央 黒木 秀記	パーフルオロスルホン酸膜を用いた固体アルカリ水電解システムの開発
13:50 - 14:14	藤牧 隆之介	山口 猛央 黒木 秀記	表面構造制御に基づくAEM型水電解用高性能触媒の設計
14:15 - 14:44	山岡 雄貴	山口 猛央 黒木 秀記	アニオン交換膜型水電解用卑金属触媒の活性および電気伝導度の両面からの設計論構築
14:45 - 14:49	(休憩)		
14:50 - 15:14	橋口 百々子	黒木 秀記 山口 猛央	金属ナノ粒子連結構造体を用いた新規バイオセンシング手法の構築
15:15 - 15:39	吉田 あづ希	黒木 秀記 山口 猛央	双性イオンループブラシを用いた防汚性表面の構築と水処理膜技術への展開
15:40 - 16:04	園田 海斗	横井 俊之	メタノール転換用CON型ゼオライト触媒の酸性質制御